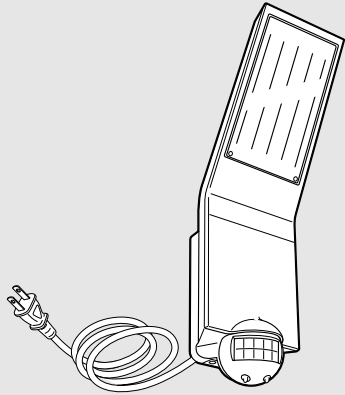


# LA-150 取扱説明書 (保証書付)

販売店様・工事店様へ  
LA-150の設置が完了しましたら、この  
取扱説明書をお客様にお渡しいただきま  
すようお願いいたします。



- ・この度はLA-150をお買い上げいただきましてありがとうございます。  
ございます。
- ・お取り付けになる前に、この取扱説明書をよくお読みの上、  
正しくお使いください。
- ・この取扱説明書をお読みになったあとは、いつでも見られ  
るところに大切に保管してください。
- ・この製品は盗難・災害・事故などを防止するものではありません。なお万一発生した盗難・災害・事故による損害に  
ついては責任を負いかねますのでご了承ください。
- ・この製品は日本国内用です。海外ではご使用にならないで  
ください。  
This product designed for use in Japan only and  
cannot be used in any other country.

## もくじ

はじめに	1
安全にお使いいただくために	2
1 お使いになる前に	2
・各部の名称と付属品	2
・検知エリア	3
・設置場所を決めるときのご注意	3
2 本体を設置する	4
・蛍光灯の取付方法	4
・本体の取付方法	4
・センサユニットの角度調節方法	5
・動作テスト	6
3 「おかしいな…」と思ったら	7
・動作表示灯の見かた	7
・思ったように点灯/消灯しないときは	7
4 メンテナンス	8
5 仕様	8
・保証書	8

## はじめに

### ■絵表示について

この取扱説明書の表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。十分ご理解の上、本書をお読みください。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が負傷する可能性が想定される内容、および物的損害の発生が想定される内容を示しています。



必ず守らなければならない注意事項や制限事項、知っておくと役に立つ内容を示しています。

### ■絵表示の例



○記号は禁止を示しています。図の中には具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



●記号は行為を強制したり指示する内容を示しています。図の中には具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く)が描かれています。

# 安全にお使いいただくために



警告



燃えやすい物の近くで・使用禁止

燃えやすい物の近くで使用しないでください。また布や紙などで覆わないでください。火災の原因になります。人がいなくてもセンサで点灯することがありますので、特にご注意ください。



異常なときは電源プラグを抜く

万一煙が出たり、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因になります。すぐに電源を切り異常状態がおさまったことを確認してから、販売店、工事店にご連絡ください。お客様自身による修理は、危険です。おやめください。



感電注意



濡れた手で、本体や電源プラグに触らないでください(雨などで濡れているときも触らないでください)。



また、蛍光灯の交換、清掃は、電源プラグを抜いてから作業してください。感電の原因になります。



火傷注意



蛍光灯は高温になります。本体を触るときは電源プラグを抜き、必ず蛍光灯が冷めていることを確認してください。火傷の原因になります。



分解・改造の禁止

分解・改造は、危険です。おやめください。火災、感電の原因になります。



注意



水や湿気の多い所での使用禁止

この製品は防沫形ですが、風呂場などの湿度の高い場所、水に浸かる恐れのある場所、水中などには設置しないでください。また、ホースなどで水をかけないでください。火災、感電の原因になります。

取り付け方向を守る

取り付けには方向性があります。本書にしたがって正しい方向に取り付けてください。火災、感電の原因になります。



電気工事は専門家に依頼

電気工事が必要な場合は、必ず工事店、電気店(有資格者)に依頼してください。一般の方の工事は法律で禁止されています。

100V以外での使用禁止

必ず交流100Vで使用してください。100V以外で使用すると、火災、感電の原因になります。



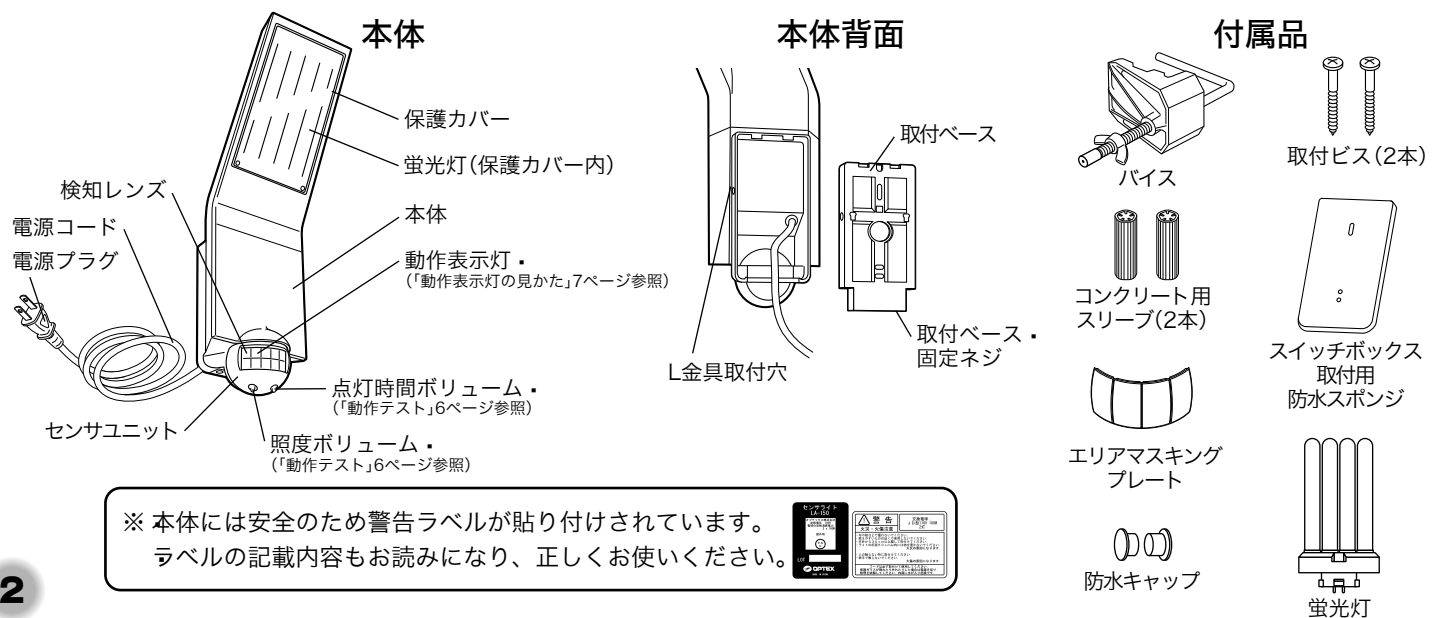
定期清掃点検の実施

適正の明るさで、また安全に使用していただくために、定期的に清掃点検を実施してください。不具合があった場合はそのまま使用しないで、工事店、電気店(有資格者)に修理を依頼してください。

## 1 お使いになる前に

### 各部の名称と付属品

お使いになる前に、本体と付属品が揃っているか、また破損していないかお確かめください。

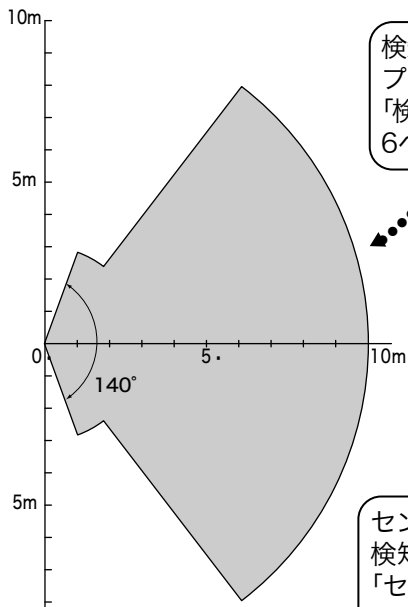


## 検知エリア

この製品のセンサが人を検知する範囲は下図のようになります。

取付高さ:2.5m センサユニット:下方向に15°傾けた場合

平面図

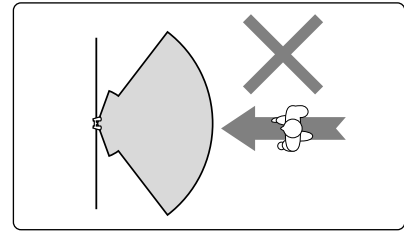
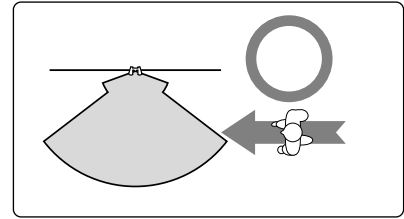


検知エリアは、エリアマスキングプレートで狭くできます。「検知エリアを狭くしたい場合」6ページ参照

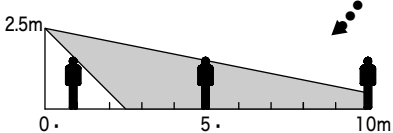



センサユニットを下に向けるほど検知する距離は短くなります。「センサユニットの角度調節方法」5ページ参照

- ・この製品は、検知エリア内に入ったときの温度変化を検知する方式です。周囲の温度によって検知距離が変わる場合があります。
- ・センサに対して人が正面から近づくと検知しにくい場合があります。できるだけ検知エリアを横切るように取り付けてください。



側面図



人が  範囲に入ればセンサが検知して点灯します。

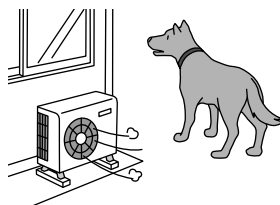
## 設置場所を決めるときのご注意

次のような場所に設置すると人がいなくても点灯することがありますので、くれぐれも注意してください。

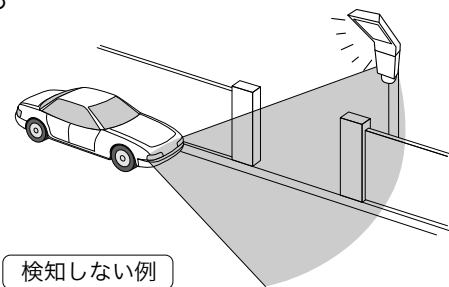
- ・検知エリア内に庭木や洗濯物など動く物がある場所



- ・近くにヒーターやクーラーなどの吹き出し口がある場所
- ・検知エリア内を犬や猫などが通る場所



- ・検知エリアの正面から太陽や車のヘッドライトが直射する場所



検知しない例

- ・常に明るい(照度検知が正しく動作しません。)
- ・ガラス越し



- ・検知エリア内に大理石など反射の強い床面がある場所
- ・周囲に壁や塀などの検知エリアを遮る物がない場所・(ガラス越しは透明でも検知しません。)

- ・設置後は必ず動作テストをしてください。「動作テスト」6ページ参照
- ・検知エリアが10mと広いので、敷地外でも検知する場合は検知エリアを調節してください。

設置場所を決めるときは、安全上も十分に注意してください。










警告

- ・人や物がぶつからない所に取り付けてください。
- ・燃えやすい物の近くに設置しないでください。火災の原因になります。
- ・本体が落下しないように、安定した場所に取り付けてください。
- ・電源コード(5m)は延長できません。電源コンセントまでの距離を考慮して設置してください。

# 2 本体を設置する

## 蛍光灯の取付方法

本体を設置する前に、蛍光灯を取り付けます。

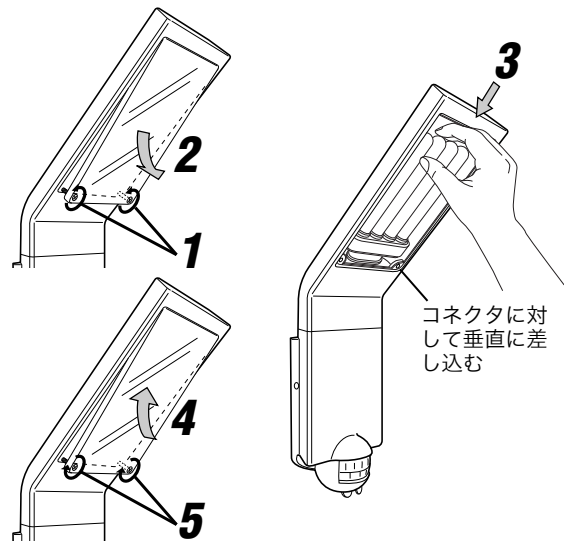
 <b>警告</b>	 燃えやすい物の近くで使用しないでください。また布や紙などで覆わないでください。	 <b>注意</b>	 蛍光灯の交換の際は、FML27型の蛍光灯を使用してください。指定以外の蛍光灯を使用すると、火災の原因になります。火傷防止のため電源プラグを抜き、5分以上経過してから蛍光灯を外してください。
	 蛍光灯は高温になります。電源プラグを抜き、必ず蛍光灯が冷めていることを確認してから作業してください。火傷の原因になります。		 ・保護カバーが落下しないように、また本体と保護カバーの隙間から水が入らないように、ネジをしっかりと締め付けてください。 ・蛍光灯が割れないように慎重に取り扱ってください。
	 濡れた手で触らないでください。感電の原因になります。		

- 1 保護カバーのネジ(2ヶ所)をプラスドライバーで緩めます。
- 2 保護カバーを本体から外します。
- 3 コネクタに蛍光灯をしっかりと差し込みます。



コネクタへの差し込みが少し硬くなっています。蛍光灯をコネクタに対して垂直に差し込み、力を加えてください。

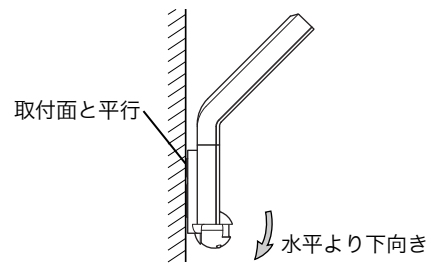
- 4 保護カバーのツメを本体上部の穴にあわせ、はめ込みます。
- 5 保護カバーのネジ(2ヶ所)をプラスドライバーでしっかりと締め付け、固定します。



## 本体の取付方法



本体は垂直な壁や柱などの取付面と平行に、センサユニットは水平より下向きに取り付けてください。正常に取り付けないと、人を検知しない場合があります。

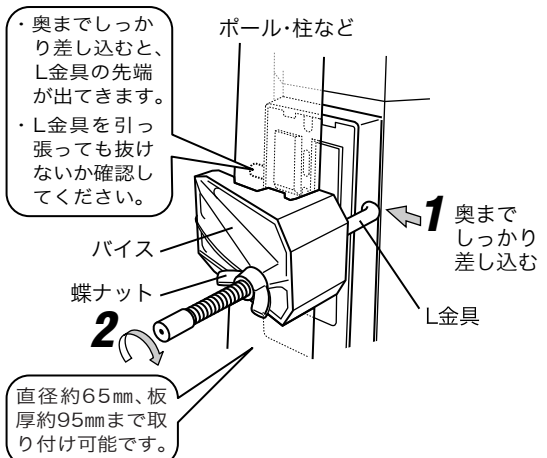


### ■ポールなどに取り付ける場合

- 1 付属のバイスのL金具をL金具取付穴に奥までしっかり差し込みます。
- 2 蝶ナットを手でしっかりと締め付け、固定します。  
・強く締めすぎると、L金具が壊れる場合がありますので、工具などは使用しないでください。



本体が落下しないよう蝶ナットをしっかりと締め付けてください。



## ■壁や平らな柱などに取り付ける場合

- 1 取付ベース固定ネジをプラスドライバーで本体から外します。
- 2 取付ベースを本体から外します。
- 3 取付ベースを壁や平らな柱などに取り付けます。
  - ・コンクリートの壁や柱に取り付ける場合は付属のコンクリート用スリーブと付属の取付ビスを、木の壁や柱などに取り付ける場合は付属の取付ビスを使用してください。
- 4 取付ベースに本体をはめ込みます。
- 5 取付ベース固定ネジをプラスドライバーでしっかりと締め付け、固定します。



**注意**

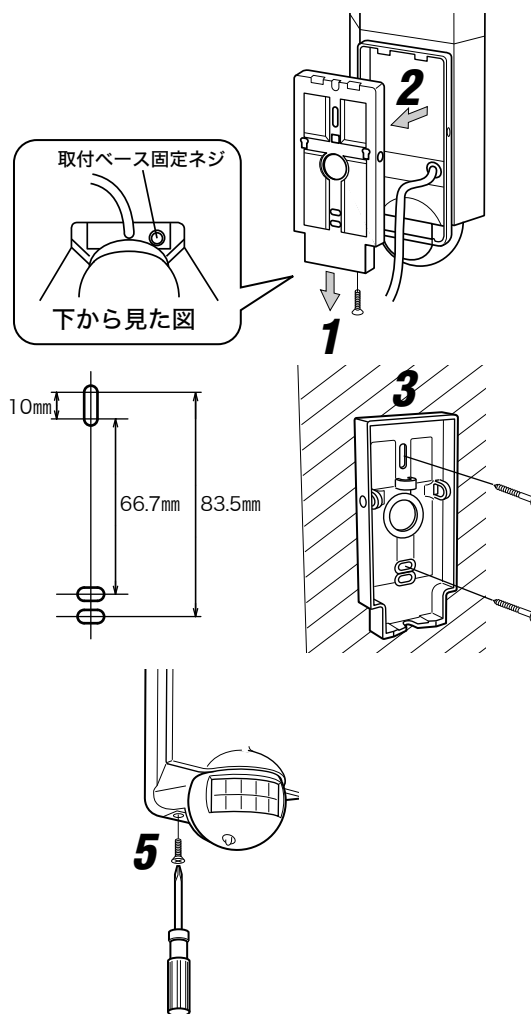
しっかりした壁または柱などに取り付けてください。ベニヤ板、モルタルなどに取り付ける場合は、ホームセンターなどで専用のネジを別途お求めください。



**注意**

本体が落下しないよう取付ベース固定ネジをしっかりと締め付けてください。

- 6 本体のL金具取付穴に付属の防水キャップ（2ヶ所）を取り付けます。



## スイッチボックスに取り付ける場合

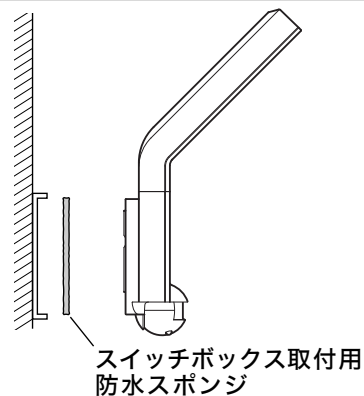
壁に埋め込まれたスイッチボックスを使用する場合は、防水のために付属のスイッチボックス取付用防水スポンジを本体とスイッチボックスの間に取り付けてください。



**注意**



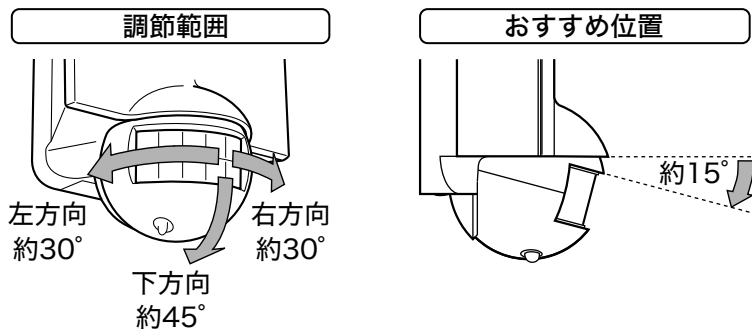
電気工事が必要な場合は、必ず工事店、電気店（有資格者）に依頼してください。・一般の方の工事は法律で禁止されています。



## センサユニットの角度調節方法

センサユニットの角度を調節する前に、センサの検知させる範囲を決める必要があります。  
「検知エリア」3ページ参照

- 1 センサユニットは角度を自由に調節することができます。  
センサユニットは下方向に約45°、左右方向にそれぞれ約30°の範囲で動きます。



センサユニットを下に向けるほど検知する距離は短くなります。



5

# 動作テスト



設置した後は、必ず動作テストを行い、センサが正しく検知され蛍光灯が点灯するかを確認してください。

**1** 点灯時間ボリューム、照度ボリュームを右図の位置にします。

**2** 電源プラグを屋外用コンセントに直接つなぎます。

- 電源が入った直後は、ウォーミングアップ状態になり30秒程度点灯します。点灯すれば蛍光灯と電源は正常です。
- 点灯しないときは電源プラグを抜き、「3「おかしいな…」と思ったら」7ページを参照してください。



**警告** 屋内用コンセントは使用しないでください。また、電源コードは延長しないでください。漏電により、火災の原因となることがあります。

**3** 検知エリアの範囲から離れて待ち、消灯したあと検知エリアの中にゆっくりと入ります。

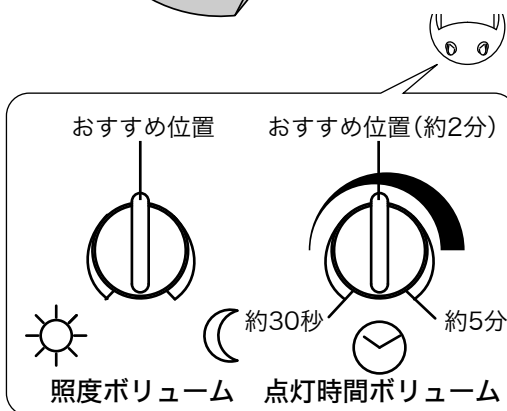
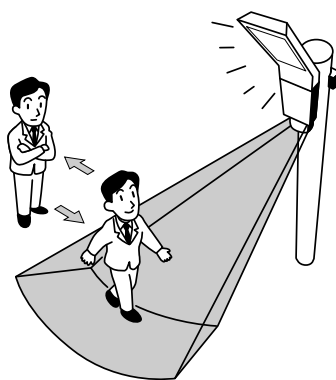
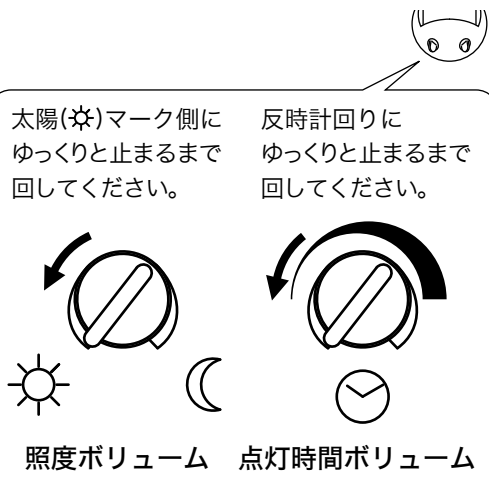
- 再び点灯すると、センサは正常です。再点灯しないときや、点灯後消灯しないときは「3「おかしいな…」と思ったら」7ページを参照してください。

**4** 動作テスト終了後、点灯時間ボリューム、照度ボリュームを右図の位置にしてください。

- 右図の位置がおすすめ位置です。
- 点灯時間ボリューム、照度ボリュームは変更できますので、状況に応じて調節してください。

**点灯時間ボリューム**：人を検知しなくなってから消灯するまでの時間を、約30秒～約5分の範囲で調節してください。

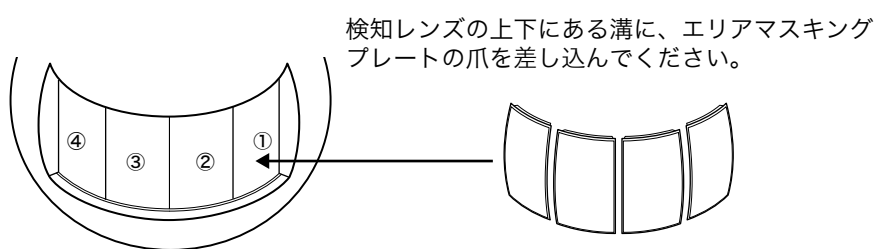
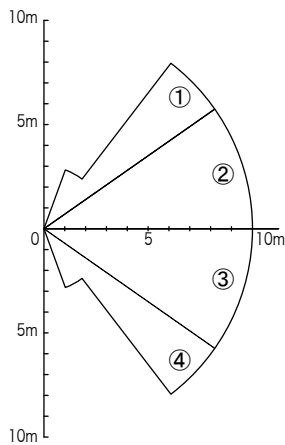
**照度ボリューム**：周囲が明るいときに点灯させたい場合は太陽(☀)マーク側に、暗くなってから点灯させたい場合は月(☾)マーク側に少しずつ回して調節してください。



## ■検知エリアを狭くしたい場合

検知エリアの広がりや狭くしたい場合は、付属のエリアマスキングプレートを使って検知レンズを隠します。付属のエリアマスキングプレートを手で割って、図の番号の場所を隠すことによって、番号のエリアを隠すことができます。センサの検知させる範囲を決めるときは、「検知エリア」3ページを参照してください。

壁面(高さ2.5m)に取り付けた場合



# 3 「おかしいな…」と思ったら

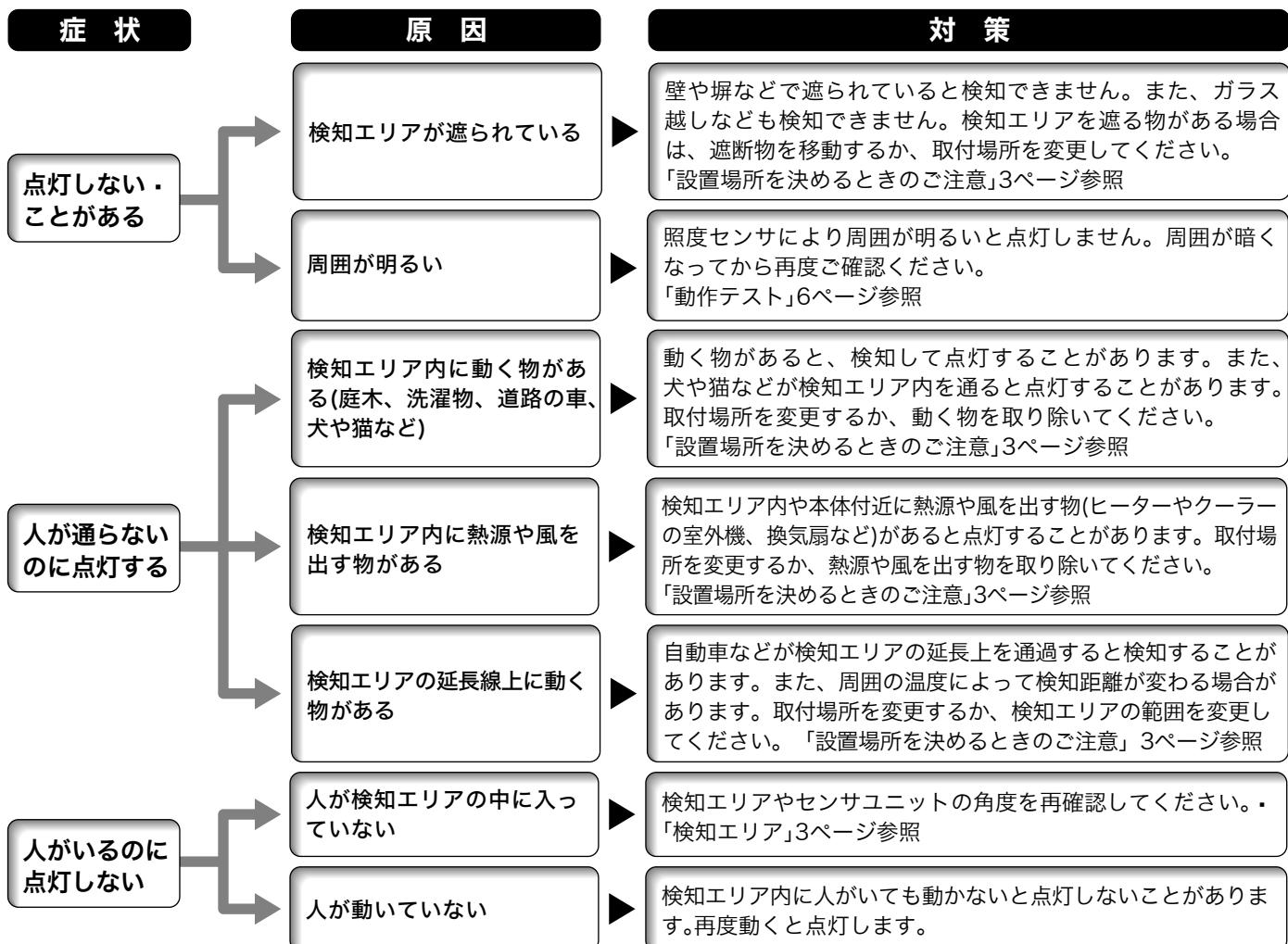
## 動作表示灯の見かた

動作表示灯と蛍光灯の点灯/消灯によって、異常の原因がわかります。



動作表示灯	蛍光灯	原因	対策
☀️ 点灯	☀️ 点灯	正常です。	—
☀️ 点灯	● 消灯	蛍光灯が切れています。	新しい蛍光灯に交換してください。蛍光灯は高温になります。電源プラグを抜き、蛍光灯が十分に冷めていることを確認してから作業してください。「蛍光灯の交換」8ページ参照
		蛍光灯が正しくセットされていません。	蛍光灯をハンカチなどの乾いた布で持ち締め直してください。蛍光灯は高温になります。電源プラグを抜き、蛍光灯が十分に冷めていることを確認してから作業してください。「蛍光灯の交換」8ページ参照
● 消灯	☀️ 点灯	動作表示灯のON/OFFリレーの接点が故障しています。	お買い上げ店または弊社へ本書を添えてお申し付けください。
● 消灯	● 消灯	電源が切れています。	電源プラグがコンセントから抜けていないか、また電源コードが途中で断線していないか確認してください。
		検知していません。	正常に検知できるように、設置場所を変更して動作テストを行ってください。

## 思ったように点灯/消灯しないときは



# 4 メンテナンス

## ■蛍光灯の交換

**警告**

燃えやすい物の近くで使用しないでください。また布や紙などで覆わないでください。

蛍光灯は高温になります。電源プラグを抜き、必ず蛍光灯が冷めていることを確認してから作業してください。火傷の原因になります。

濡れた手で触らないでください。感電の原因になります。

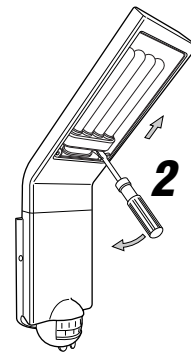
**注意**

蛍光灯の交換の際は、FML27型の蛍光灯を使用してください。指定以外の蛍光灯を使用すると、火災の原因になります。火傷防止のため電源プラグを抜き、5分以上経過してから蛍光灯を外してください。

・保護カバーが落下しないように、また本体と保護カバーの隙間から水が入らないように、ネジをしっかりと締め付けてください。

・蛍光灯が割れないように慎重に取り扱ってください。

- 1 「蛍光灯の取付方法」4ページの手順1、2を参照して、保護カバーを取り外します。
- 2 右図のようにマイナスドライバーを使って、コネクタから蛍光灯を抜き、蛍光灯を外します。
- 3 「蛍光灯の取付方法」4ページの手順3～5を参照して、蛍光灯と保護カバーを取り付けます。

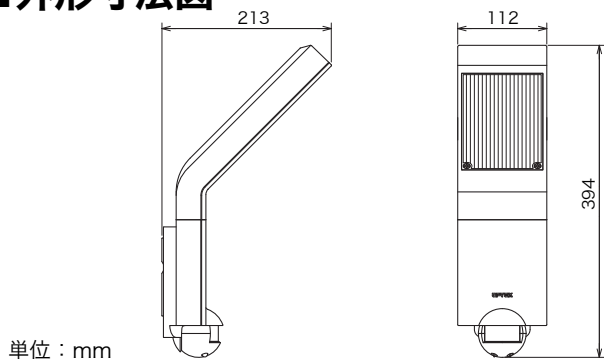


## ■汚れたときは

水洗いはしないでください。本体の汚れは柔らかい布で乾拭きするか、中性洗剤を薄めた水で湿らせた布をよく絞って拭き取ってください。

# 5 仕様

## ■外形寸法図



## ■仕様

型式	LA-150
検知方式	パッシブインフラレッド方式
昼夜判別機能	約5lx～∞可変
点灯時間	約30秒～約5分可変
使用温度範囲	0～+50℃
耐水性能	防沫形
電源コード長	約5m
定格電圧	AC100V 50/60Hz
定格消費電力	待機時約1W 点灯時約30W
質量	約1.1kg
使用蛍光灯	FML27型の蛍光灯

※仕様は改良のため予告なしに変更することがあります。

## LA-150 保証書

お買い上げ日	年 月 日	
保証期間	お買い上げ日より1年間	
お客様	ご住所	〒 TEL.
	ご氏名	様
お買い上げ店	住所	〒 TEL.
	店名	

### 〈保証規定〉

#### I. 保証の範囲

1. 取扱説明書に記載された正常な状態で、保証期間中に万一故障を起こした場合、無償にて修理いたします。お買い上げ店もしくは弊社へ本書を添えてお申し付けください。
2. この保証は保証書に記載された製品について日本国内に限り適用いたします。  
This warranty is valid only for Japan.

#### II. 保証の条件

- 次に該当する故障は、保証期間中であって（お買い上げ日より1年間/但し蛍光灯は除く）であっても実費にて修理を申し受けることがあります。
1. あやまった取り扱い、不当な修理・改造を受けた製品の故障、また故意・不注意による破傷に起因する故障。
  2. 災害など不可抗力による破傷。
  3. 本書に必要事項の記入が無い場合、また本書の提示が無い場合。

## オプテックス株式会社

本社：〒520-0801 滋賀県大津市におの浜4-7-5  
TEL(077) 524-0211・FAX(077)524-3201

東京営業所：〒160-0023 東京都新宿区西新宿 6-14-1 新宿グリーンタワービル18F.  
TEL(03) 3344-5775・FAX(03) 3344-5734